

# 産科婦人科



副院長  
診療科長  
高倉 賢二

専門医資格等 日本婦人科腫瘍学会専門医  
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医  
日本産婦人科内視鏡学会 評議員  
日本内分泌学会 評議員  
日本受精着床学会 評議員  
京都大学博士(医学)  
京都大学医学部 非常勤講師  
京都大学医学部 臨床教授  
関西医科大学 臨床教授

専門分野 婦人科腫瘍  
産婦人科手術  
内分泌疾患の診断・治療

## □ スタッフ

平成29年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医療情報部長	北岡 有喜	日本産科婦人科学会専門医・指導医 京都大学博士(医学) 同志社大学博士(政策科学)	生殖分子生理学・ 医療情報学・情報 システム学	
産科婦人科医長	高尾 由美	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本医師会認定産業医 臨床研修指導医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 J-MELSベーシックコースインストラクター 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	婦人科腫瘍 不妊症
産科婦人科医長	山口 建	日本産科婦人科学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医 臨床研修指導医 京都大学博士(医学)	産婦人科一般	婦人科腫瘍 婦人科手術
医師	宇治田 麻里	日本産科婦人科学会専門医 臨床研修指導医	産婦人科一般	産婦人科一般
医師	川崎 薫	日本産科婦人科学会専門医・女性のヘルス ケアアドバイザー 日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母 体・胎児)・新生児蘇生法インストラクター J-MELSベーシックコースインストラクター	産婦人科一般	周産期一般
医師	高倉 賢人	日本産科婦人科学会専門医 日本がん治療認定医機構・がん治療認定医	産婦人科一般	
医師	松坂 優	日本産科婦人科学会専門医	産婦人科一般	
医師	小椋 恵利		産婦人科一般	
専修医	山村 幸		産婦人科一般	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本産科婦人科学会 総合型専攻医指導施設 日本婦人科腫瘍学会 指定修練施設 日本周産期・新生児医学会 母体胎児指定施設 日本産科婦人科内視鏡学会 認定研修施設 臨床遺伝専門医制度 認定研修施設
-------	--

～産科～

安全で、妊婦さんひとりひとりが心から満足のいく分娩を提供します。

女性にとって、お産は重要なイベントです。そして、それぞれのお産についての妊産婦さんの考えや要望は年々変化してきています。私たちは、お産の質の向上、および医療者側のお産に対する的確な対応が、ますます大切なものとなってきていると考えています。

～婦人科～

女性の社会進出に伴い、外来治療や低侵襲手術（腹腔鏡手術や腔式手術、小開腹手術）を推進し、早期の社会復帰を目指します。充実した診療スタッフにより、幅広い婦人科疾患に対して対応可能です。特に、婦人科がんに対してハイレベルな診療を行います。

## □ 診療（業務）内容

～産科～

1. 妊婦健診では、一般的な健診のみならず、病棟助産師が立ち会い、継続して保健指導を行い、生活指導なども適宜行っています。
2. 分娩（出産）は、自然分娩を尊重しながらも、合併症や急変に対しても、小児科（NICU）・内科・麻酔科などとも連携をとり、チームワークで対応します。  
合併症妊娠やハイリスク妊娠の症例も多く取り扱っています。平成29年度（2017年度）の周産期救急搬送（母体搬送）の受け入れ件数は44件で地域の周産期救急にも積極的に貢献しています。医学的根拠に基づいた安全で安心なお産を提供すべく、日々努力しています。
3. 産前・産後の母乳ケアを行い、母乳育児をサポートします。

～婦人科～

1. 治療前のインフォームド・コンセントを重視します  
十分な説明を行い、納得いただいたうえで治療を行うことにより、満足の得られる医療を行うことを診療のモットーとしています。また、疾患について画一化された治療を行うのではなく、それぞれの患者さんの身体的・精神的・社会的状況や希望なども十分ふまえたうえで治療方針を決定します。
2. 幅広い婦人科疾患に対応します  
充実した診療スタッフにより、良性疾患から悪性疾患まで幅広く婦人科疾患に対応可能です。
3. 低侵襲手術を行います  
女性の社会進出に伴い、入院期間・自宅療養期間の短縮が求められています。そのような社会のニーズに応えるため、悪性（癌）の疑いのない腫瘍に対しては、積極的に低侵襲手術（腹腔鏡下手術、腔式手術、小開腹手術）を行い、早期の社会復帰を目指します。
4. 悪性腫瘍に対してハイレベルな診療を行います  
京都府のがん診療拠点病院および日本婦人科腫瘍学会指定修練施設に認定されており、悪性腫瘍に対する診療経験が豊富にあります。常に最新の情報に基づいて、他科と連携してハイレベルな治療を行います。子宮頸癌に対する神経温存広汎性子宮全摘術に関しては2007年から先駆けて行っています。卵巣癌、子宮体癌に対しても、傍大動脈リンパ節郭清までの必要十分な手術を行う一方で、緻密な出血量の少ない手術操作により術後合併症を回避し、術後早期回復をはかります。また腹腔鏡下急性腫瘍手術も行っています。リンパ浮腫専門外来を擁し、退院後のQOLにも配慮した診療を行います。

## 5. 更年期からの健康管理を推進します

直面する超高齢化社会においては、元気な老後を迎えられるよう更年期(50歳前後)からの健康管理が重要になります。更年期障害や骨粗鬆症などの女性特有の疾患に対応するため更年期からの健康管理を推進します。

## □ 診療実績(平成29年度)

### 入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
24.7名	1,357名	6.7日

### 外来患者数

1日平均患者数
52.2名

### 主な手術・検査の件数など

分娩件数	帝王切開件数	婦人科開腹手術	悪性腫瘍手術
346件	102件	188件	83件
腹腔鏡下手術	腔式手術		
106件	186件		

## □ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	学会名・演題・演者
国際学会	The 5th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology (ASGO 2017) Primary retroperitoneal squamous cell carcinoma: a case report with review of the literature Yu Matsuzaka, Ken Yamaguchi, Sachi Yamamura, Eri Ogura, Masahito Takakura, Mari Ujita, Kaoru Kawasaki, Yumi Takao, Kenji Takakura, Ikuo Konishi 2017.12.1 東京
国内学会	Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging 2017 平滑筋腫の併存により術前に嚢胞性腺筋腫の悪性転化が疑われた症例 山村 幸、高倉 賢二、山口 建、小椋 恵利、松坂 優、高倉 賢人、川崎 薫、宇治田 麻里、高尾 由美、小西 郁生、大堂 さやか、西松 佳代、渡邊 幸香 2017.9.2 淡路
国内学会	Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging 2017 子宮内にAVM様の富血管性腫瘍を認めPSTTとの鑑別を要したintramural pregnancyの一例 小椋 恵利、山口 建、山村 幸、松坂 優、高倉 賢人、川崎 薫、宇治田 麻里、高尾由美、高倉 賢二、小西 郁生 2017.9.2 淡路
その他	研修医・修練医のためのサマーセミナー2017 術前に子宮内膜症の悪性転化との鑑別が困難であった嚢胞性腺筋腫 中村 しほり、山口 建、山村 幸、小椋 恵利、松坂 優、高倉 賢人、川崎 薫、宇治田 麻里、高尾 由美、高倉 賢二、小西 郁生 2017.8.11 京都
国内学会	第55回日本癌治療学会学術集会 卵巣子宮内膜症性嚢胞に対してジエノゲスト投与中に卵巣明細胞癌を発症した一例 高倉 賢人、山口 建、山村 幸、小椋 恵利、宇治田 麻里、川崎 薫、高尾 由美、高倉 賢二、小西 郁生 2017.10.20 横浜
研究会	京都産婦人科学会学術集会 母体血を用いた出生前遺伝学的検査(NIPT)における遺伝カウンセリングの重要性 山口 建、高倉 賢人、川崎 薫、山村 幸、小椋 恵利、松坂 優、宇治田 麻里、高尾 由美、高倉 賢二、浅原 哲子、日下部 徹、飛騨 美希、小西 陽介、三宅 秀彦、橋本 有紀子、北 誠 2017.10.21 京都
その他	京都女性のヘルスケア研究会 P16陽性を示す腹膜原発扁平上皮癌の症例 松坂 優、山口 建、山村 幸、小椋 恵利、高倉 賢人、宇治田 麻里、川崎 薫、高尾 由美、高倉 賢二、小西 郁生 2017.10.28 京都
国内学会	第69回日本産科婦人科学会学術講演会 抗凝固療法中にも関わらず腫瘍減量術後に広範な脳梗塞を発症したTrousseau 症候群併卵巣癌の1例 住友 理浩、小椋 恵利、高倉 賢人、中木 絢子、川村 洋介、和田 美智子、宇治田 麻里、高尾 由美 高倉 賢二、小西 郁生 2017.4.15 広島
国内学会	第69回日本産科婦人科学会学術講演会 妊娠29週子宮内胎児死亡を契機に糖尿病ケトアシドーシスと診断された劇症1型糖尿病の1例 和田 美智子、高尾 由美、小椋 恵利、高倉 賢人、中木 絢子、川村 洋介、宇治田 麻里、住友 理浩、高倉 賢二、小西 郁生 2017.4.15 広島

国内学会	第53回日本周産期・新生児医学会学術集会 分娩後16時間以上経過してから発症した外陰部血腫に対し経カテーテル動脈塞栓術が有効であった1例 小椋 恵利、住友 理浩、高倉 賢人、中木 絢子、川村 洋介、和田 美智子、宇治田 麻里、高尾 由美、高倉 賢二、小西 郁生 2017.7.18 横浜
国内学会	第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 子宮体癌に対する術前化学療法の有効性 高倉 賢人、高倉 賢二、小椋 恵利、川村 洋介、中木 絢子、和田 美智子、宇治田 麻里、住友 理浩、高尾 由美、小西 郁生 2017.7.28 熊本
国内学会	第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 初回手術後にFDG-PET/CTで集積亢進を示し、卵巣境界悪性腫瘍再発と鑑別が困難であった肉芽腫の1例 川村 洋介、小椋 恵利、高倉 賢人、和田 美智子、住友 理浩、高尾 由美、高倉 賢二、小西 郁生 2017.7.27 熊本
国内学会	第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 子宮平滑筋肉腫10例に関する検討 高尾 由美、小椋 恵利、高倉 賢人、川村 洋介、和田 美智子、住友 理浩、高倉 賢二、小西 郁生 2017.7.29 熊本
その他	京都周産期カンファレンス 当院で緊急頸管縫縮術を施行した11例の後方視的検討 川崎 薫、山村 幸、小椋 恵利、松坂 優、高倉 賢人、宇治田 麻里、山口 建、高尾 由美、高倉 賢二、小西 郁生 2017.11.18 京都
その他	Gynecology Expert Meeting 2017 卵巣癌との鑑別が困難であった大量腹水を伴う卵巣甲状腺腫の一例 高倉 賢人、山口 建、山村 幸、小椋 恵利、松坂 優、川崎 薫、宇治田 麻里、高尾由美、高倉 賢二 2017.11.10 京都
国内学会	第57回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 肥満合併子宮体癌患者に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術の後方視的検討 山口 建、宮本 泰斗、伊藤 美幸、安彦 郁、堀江 昭史、馬場 長、松村 謙臣、万代 昌紀 2017.9.7 岡山
国際学会	18th APAGE Annual Congress 2017 Robot-assisted radical hysterectomy after neoadjuvant chemotherapy: A single institutional retrospective study Ken Yamaguchi, Kaoru Abiko, Naoya Kishimoto, Tsukasa Baba, Sachiko Kitamura, Akihito Horie, Miyuki Ito, and Masaki Mandai 2017.9.9 岡山

## □ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名
住友 理浩、小椋 恵利、高倉 賢人、川村 洋介、和田 美智子、高尾 由美、高倉 賢二、小西 郁生	抗凝固療法中にもかかわらず腫瘍減量術直後に広範な脳梗塞を発症したTrousseau 症候群合併卵巣癌の1例	日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017;第35巻第4号 803-809
宇治田 麻里、住友 理浩、高倉 賢人、川村 洋介、高倉 賢二、小西 郁生	当院での全腹腔鏡下子宮全摘術における試み	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2017年12月;33巻 第2号293-298
川村 洋介、高倉 賢二、高倉 賢人、和田 美智子、住友 理浩、高尾 由美、小西 郁生	初回手術後にFDG-PET/CTで集積亢進を示し、卵巣境界悪性腫瘍再発と鑑別が困難であった肉芽腫の1例	日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017;第35巻第4号 793-796
山口 建、吉岡 弓子、松村 謙臣、小西 郁生	進行・再発がんに対する骨盤除臓術	先端シリーズ48 臨床医のための最新産科婦人科、pp171-174、先端医療技術研究所、東京、2017
川村 洋介、高倉 賢二、高倉 賢人、宇治田 麻里、住友 理浩、大蔵 啓輔、直原 駿平、成田 匡大、小西 郁生	TLH術後に有棘縫合系により絞扼性イレウスを発症した1例	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌. 2017; 1:182-185
中木 絢子、住友 理浩、下園 寛子、高倉 賢人、川村 洋介、泰 さおり、和田 美智子、奥田 亜紀子、宇治田 麻里、高尾 由美、江川 春人、高倉 賢二、小西 郁生	分娩時に子宮腔部の全周性脱落をきたした症例の分娩後MRI所見の推移に関する検討	日本周産期・新生児医学会雑誌 2017;53:180-184